





## 令和元年度企業版ふるさと納税を活用した事業の概要

<p>事業名</p>	<p>歴史を活かしたまちづくり推進計画</p>
<p>取組内容</p>	<p>1. 特別展「益田氏VS吉見氏」の開催          平成30年度に実施した東京大学史料編纂所一般共同研究の成果発表として、島根県立石見美術館にて展覧会を開催した。          この展覧会を核として各種イベントを開催し、益田市域及び津和野町域の観光振興をはかった。          会期：令和元年9月5日(木)から11月4日(月)まで          会場：島根県立石見美術館 展示室A          主催：益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会          (島根県立石見美術館、公益財団法人しまね文化振興財団、益田市、益田市教育委員会、益田「中世の食」再現プロジェクト、益田商工会議所、一般社団法人益田市観光協会。          協力：東京大学史料編纂所、公益財団法人古代学協会、国立歴史民俗博物館、島根県教育委員会</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span>特別展会場の様子</span> <span>開会式典の様子</span> </p> <p>2. 万葉竹灯籠～幻想的な竹のともしび～の実施          県立万葉公園の園地に竹灯籠を設置し、園内を幻想的な雰囲気でも照らすライトアップイベントを令和元年8月11日(日)に開催した。また、ライトアップイベント開催までに竹灯籠を制作する市民参加型ワークショップを6回開催した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

取組内容

3. 「中世の食」普及啓発コンテンツ作成事業の実施

中世益田の認知向上及び観光客の誘客・周遊を促すため「中世の食」の普及啓発、「中世の食」に係る人材育成を行った。

(1) 新メニュー開発

「益田家文書」に記録が残っている益田藤兼・元祥が毛利元就に振舞った祝宴の献立を基に、中世の新しいメニューを開発した。

(2) 人材育成事業

中世益田の歴史やおもてなしの心を学び将来の益田を担う人材を育成するため、益田中世「おもてなしびと」養成講座を実施した。

日 時：令和2年2月7日（金）、8日（土）

参加者：益田翔陽高校2年生、益田東高校1年生

会 場：益田翔陽高校、萬福寺



(3) 中世の食普及啓発事業

学校給食週間に合わせ、市内小中学校の学校給食を通じて、児童生徒たちに中世の食を提供し、事前学習として出前授業を開催することで、食を通じて益田の歴史・文化を学ぶ機会を創出した。

○給食提供日：令和2年1月24日（金）

○出前授業日：令和2年1月23日（木）中西中学校

令和2年1月24日（金）高津小学校



<p style="text-align: center;">成果</p>	<p><u>定量的効果</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別展「益田氏VS吉見氏」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展来場者数 9,731人（目標7,000人）</li> </ul> </li> <li>2. 万葉竹灯籠～幻想的な竹のともしび～の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・万葉竹灯籠来場者数 5,500人</li> <li>・竹灯籠ワークショップ参加者数 355人</li> </ul> </li> <li>3. 「中世の食」普及啓発コンテンツ作成事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した中世の食新メニュー数 7品（フルコース）</li> <li>・中世の食を活用した旅行商品の開発 1件</li> </ul> </li> </ol> <p><u>定性的効果</u></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別展「益田氏VS吉見氏」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・益田市及び津和野町の歴史の魅力を広く発信するまたとない機会になった。</li> <li>・特別展にあわせて、周遊のためのグッズ配布を実施した。グッズ配布を行った寺院・施設では、非配布期間に比べて50%程度の拝観者・来場者の増加があった。</li> <li>・期間中に開催された全国学会の日本古文書学会大会には、研究者約60名が参加し、のべ宿泊者数約130人、のべ萩・石見空港搭乗者数34人以上と地域への経済効果も大きく、今後のMICE（大規模な学会・会議等のビジネスイベント）誘致の促進につながる成果があった。</li> <li>・この企画展を盛り上げようと、民間団体が益田市と津和野町の関連史跡・寺社等をまわるバスツアーを2回開催し、いずれも満員になるなど、官民連携も進んだ。</li> </ul> </li> <li>2. 万葉竹灯籠～幻想的な竹のともしび～の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトアップイベントがより持続可能なイベントとなるようワークショップを通じて協力団体を増やしたことで、今後の取組みへのすそ野の拡大につながった。</li> </ul> </li> <li>3. 「中世の食」普及啓発コンテンツ作成事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちへの普及啓発を行うための基盤を作ることができた。中世の食の提供を行うため、組織強化と人材育成を行い組織の基盤を作る事ができたことで、中世益田の旅行商品の開発につながった。</li> </ul> </li> <li>4. その他の成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとまるビジョン（地元ケーブルテレビ）や新聞などで取り上げていただくことで、広く取組みの周知につながった。</li> </ul> </li> </ol>
<p style="text-align: center;">今後の事業展開</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特別展「益田氏VS吉見氏」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会の開催が研究者だけでなく、観光誘客につながる事がより明らかになったことから、今後も石見ならではの歴史に関する最新の研究成果を公開する展覧会の開催を検討する。</li> <li>・企画展に関連した各種イベント等を充実させることで、より魅力的な観光誘致を進めることができるようにする。</li> <li>・今年度事業で進展が見られた民間主導・官民連携をより深化させて、いっそうの観光振興に取り組む。</li> </ul> </li> <li>2. 万葉竹灯籠～幻想的な竹のともしび～の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数箇所でのライトアップイベントの開催と、2020東京オリンピック、パラリンピックに関係するイベントに参加する。</li> </ul> </li> <li>3. 「中世の食」普及啓発コンテンツ作成事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業でできた基盤を基に、子どもたちへ向けた中世益田普及啓発事業を継続して行い、中世の食体験コンテンツの旅行商品化を進め、県内外や外国人観光客の誘客につなげる。</li> </ul> </li> </ol>